

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | 京都BAL再開発計画 | 階数 | 地下2階、地上6階 |
| 建設地 | 京都府京都市中京区河原町通三条 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 商業地域 | 平均居住人員 | 2,853 人 |
| 気候区分 | 地域区分IV | 年間使用時間 | 4,000 時間/年 |
| 建物用途 | 物販店、飲食店 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2015年4月 予定 | 評価の実施日 | 2013年10月1日 |
| 敷地面積 | 2,770 m ² | 作成者 | 和田浩 |
| 建築面積 | 2,483 m ² | 確認日 | 2013年9月1日 |
| 延床面積 | 18,553 m ² | 確認者 | 吉田進一 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 67%
③上記+②以外の 67%
④上記+ 67%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.6

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|---|--|
| 総合 | <p>京都市の中心部の河原町商店街に位置している。 河原町通り側は1階にピロティを設け、人々が快適に行き交うことのできる場の創出と河原町商店街のにぎわいの創出を図る。</p> | |
| Q1 室内環境 | Q2 サービス性能 | Q3 室外環境(敷地内) |
| JIS・JAS企画のF☆☆☆☆の材料を全面的に採用するなど室内環境の向上を図る。 | 天井高さを十分に確保し、ゆとりある空間とし、お客様が快適に過ごせるよう計画している。 | 沿道型美観地区、旧市街地型美観地区内に位置しており、景観条例の規定における認定を受けている。 |
| LR1 エネルギー | LR2 資源・マテリアル | LR3 敷地外環境 |
| 最上階6階にトップライトを設け直接採光をとり、塔屋屋上には太陽光発電を設置し再生可能エネルギー活用するなど、自然エネルギーの利用に努める。 | 外壁・内壁共乾式のため、解体の際容易に分別可能であり、またノンフロン断熱材を使用するなど、環境に配慮している。 | 騒音・振動・悪臭・待機汚染の防止に努め、地域環境への配慮を行っている。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される